

コラルボ

07
2023.2



上の写真は、35 年ほど前の三鷹駅南口駅前銀座通り西側。手前から、そば処「柏屋」(コラル 4 階)、名画座「オスカー」、パン屋の「好味屋」、陶器の「吉田陶器店」などが並んでいる。

左の写真は、現在の三鷹駅南口駅前銀座通り西側。

三鷹コラル情報誌『コラルボ』の思い

タイトルの「コラルボ」は、ビル名の「コラル」と英語の「コラボレーション」(Collaboration: 協力や協業、協働)を足し合わせた言葉です。

三鷹コラルは、お客様をはじめとした地域の皆さま、団体・企業と連携・協働しながら、より魅力的な店づくりに取り組むとともに、このまちの商業を活性化し、三鷹駅前をより素敵な場所へと成長させていきたいと願っています。

この『コラルボ』を起点に、地域に新しいつながりや活動を、そしてそこから生まれる笑顔を増やしていけたら幸いです。

Contents

- コラル人^{びと} 「啓文堂書店三鷹店」[3F] 大塚昌宏さん
- コラル×三鷹 まちとつながるインタビュー
「ファイブイヤーズ」荒木美穂子さん
- 駅前とともに歩んで 手記・三鷹の今昔 [その7横綱 男女ノ川]

第7回 びと コラル人

三鷹コラルには、商品へのこだわりやお客様への熱い思いを持ったスタッフが揃っています。そんな個性あふれる「コラル人（ビト）」の声を届けさせていただきます。第7回は3階「啓文堂書店 三鷹店」大塚昌宏店長（49歳）です。

Interview

書籍と文房具「啓文堂書店 三鷹店」
店長 大塚 昌宏さん

OTSUKA Masahiro

■20年前の三鷹店を 立ち上げるに参加

大学を卒業後、好きな本に携わる仕事ができたいと京王書籍販売株式会社に就職しました。京王電鉄の完全子会社で、この会社が啓文堂書店チェーンを運営しているのです。以来25年、いろいろな店舗や本部で働いてきました。実は20年前の2003年になりますが、この三鷹店を立ち上げるためのメンバーの一人だったのです。そういう貴重な経験もあって三鷹店に店長として戻ってきたのはうれしいことでした。

■三鷹・武蔵野は 本好きのお客さんが多い

三鷹店と他の店舗と違うところは、本好きのお客さんが多いことです。特に文芸書など、広くいえば人文系の購入が多いですね。他店舗と比べて2割ほど多いと思います。そういうこともあって、売上では全22店舗中2番目なのです。そのような店ですから本好きのお客様の期待に応える棚づくり（本を選び棚に並べる作業）は重要な作業となります。当店ではジャンルごとに担当者が棚を作ります。もちろん私も参加しています。もともと本屋さんの棚づくりに興味があり、自分の考える理想の選書をしたいたいという思いもありこの道を選びましたから、楽しい作業でもあります。

■お客様の7割は三鷹市民

また、昨年は古書の販売イベントも行いました。新刊書店に古書が並ぶわけなので不安もありましたが思っていた以上に好評でした。本の好きな人にとって古い新しいは関係無いのでしょうか。またやろうと思います。三鷹店のお客様はご年配の方だけでなく、若い方々や子供連れの家族も多く、読書人口の広がりを感じるエリアで

品ぞろえも充実してきた
文具コーナーもあります。



三鷹店は文芸書単行本も
よく売れています。



す。三鷹駅の南口にあるせいか、お客様の7割は三鷹市民で3割が武蔵野市民です。そういう顧客割合なので、三鷹を代表する書店として市民の皆さまの期待に応えていきたいと思っています。私もそうですが、本が好きの人にとっては、いい本屋さんが街にあることが住みたい街の基準にもなっていますので、地元の皆さまの為に「いい本屋」づくりを進めていきたいと思っています。

取材
後記

本が好きで、理想的な本屋の棚を作りたいということで書店に就職された大塚さん。現在は管理職をこなしながらも本にまみれた仕事を楽しんでいられたようでした。このごろは新書を読むことが多く、最近発行された中でのオススメ新書は、『日本史を暴く―戦国の怪物から幕末の闇まで』（磯田道史著 / 中公新書）でした。

3階 書籍と文房具『啓文堂書店 三鷹店』

TEL. 0422-79-5840 営業時間：10：00～21：00*

*上記は通常の営業時間です。新型コロナウイルス感染症対策の基準が変わりますと変更場合があります。



WEB サイト

コラル × 三鷹 まちとつながるインタビュー

三鷹コラルでは、商業ビルの枠をこえて、地域で活躍する人々や地域団体、他の店舗や企業との連携に取り組んでいます。この企画では、コラルが出会った「地域の魅力的な人・団体・活動」をご紹介します。今回は、コラルのイベント手伝いなどでご協力いただいている株式会社ファイブイヤーズの荒木美穂子さんにお話を伺いました。



株式会社ファイブイヤーズ 代表取締役
荒木美穂子さん
ARAKI Mihoko

國學院大学文学部卒業後、高校教育や若者の自立支援に携わる。働きたくても働けない事情を抱える人たちの雇用の場の開拓・創出を目標に、2014年に法人を設立。以来、地域のニーズに応じた事業を展開している。事務所は三鷹市牟礼。

恩師竹内常一先生との出会い

ホームページの「ファイブイヤーズとは？」には、「地域では、『誰かの手を借りたい』という声があちこちで聞かれます。一方で、『誰かの役に立ちたい』と思いつながら、それぞれに事情を抱え、社会参加の機会に恵まれない人たちが多く存在します。ファイブイヤーズは、その双方を結んで『顔の見える関係』をつくり、喜びを共有するための取り組みをしています」と記されている。その原点になったのは、生活指導教育の理論的指導者といわれた恩師竹内常一先生との出会いにあった。

不登校経験者のための全寮制高校に赴任

荒木美穂子さんは渋谷区千駄ヶ谷で生まれ、地元の小中学校を卒業し専門学校に進学したが、やはり大学で学ぼうと20歳で大学を受

験した。合格したものの、モラト

リアムに沈む日々を送る中で出会った人物こそ竹内先生で、他県の全寮制高校を紹介され、大学卒業後に国語教師として赴任する。そこは様々な理由から不登校経験を持つ子どもたちを受け入れる高校であった。生活指導に追われながら5年半勤めた頃、東京に戻らなくてはならなくなった。東京でも、同じような境遇の生徒が多い通信制サポート校での勤務を経て三鷹の若者支援団体に入職するが、常に同じような問題に直面した。「就職できない、就職できても職場に定着できないのです」と大きな就業の壁があることを強く実感していた。

地域の人々とつながる事業を

私に何ができるか、どのようなことをしたいのか考えるようになり、意を決し2014年3月、冒

頭に記した法人を立ち上げることになった。以来、目に見える地域の人々とつながる事業こそ大事だと思い、三鷹商工会を中心に、三鷹コラルをはじめとした市内の商店会や商工会会員の事業所などから様々な仕事を請け負っている。そこには就労準備中の若者に限らず、あらゆる事情でフルに働くことができない人々が緩やかに集い、得意を活かして作業にあたる。手が足りないときには地域のサポーターがスポットで関わり、ぎりぎりの会社経営を助けてくれる。

理解のある大家さんを探して紹介

まだまだやりたいことがあるという。「宅建業者免許を取りました。就労していい青年は、活動拠点に部屋を借りたくてもなかなかうまくいきません。そういう青年たちに理解のある大家さんを探して、仕事だけでなく、コミュニティも含めて紹介していけたらと思っていますのです」と、次の展開を考えている。このまち三鷹で、困っている人同士をつないで応援する、そういう会社を目指しているが、次々と課題が見えてくるようだ。社名「ファイブイヤーズ」は、デヴィッド・ボウイの曲のタイトルから取ったそう。歌詞から「あと5年で世界が滅びると言われたら、さて、どう生きようか」というメッセージを受け、自分の生き方を決めた。



アンケート調査 (コラル)



配達 (三鷹商工会)



繁忙期の工場お手伝い



イベントのお手伝い (三鷹台商店会盆踊り)

駅前とともに歩んで 手記 三鷹の今昔

その7
みなのがわとうぞう
34代横綱 男女ノ川登三

横綱男女ノ川が下連雀消防署前に住んでいた

三鷹に太宰治が住んでいたのは有名だが、大相撲の横綱男女ノ川登三（本名 坂田供次郎）が駅前通りに住んでいたのを知っている人は少ない。1940年（昭和15年）4月、私の父橋本利一のところへ、住まいにする土地がないだろうか、と横綱が尋ねて来た。そこで駅前中央通りを南へ行き、今は三鷹消防署下連雀出張所前の交差点角の時間貸し駐車場になっている土地300坪をゆずった。

男女の川は、1903年（明治36年）9月17日生まれ。茨城県筑波郡管間村磯辺字安森（現つくば市磯辺安森）の農家、坂田五十吉の次男として生まれた。

百人一首の「筑波嶺の峯より落つる男女川恋ぞつもりて淵となりぬる」から取り、筑波神社の神主が男女ノ川と名付けた。

34代横綱に身長1m93cm体重160kgの力士

1924年（大正13年）初土俵。1936年（昭和11年）5月場所後34代横綱に推挙された。玉錦、武蔵山の三横綱時代である。名横綱双葉山の一代先輩で1m93cm、160kgもあり当時としては大きな力士だった。しかし、私が相撲を見に連れて行ってもらった頃は引退前でよく負けていた。1936年（昭和11年）9月小説家菊池寛の紹介で吉岡一枝と結婚、一枝は菊池寛の郷里、四国・高松の女性で菊池の家とは遠縁に当たっていた。1941年（昭和16年）9月から早稲田大学専門部へ聴講生として角帽をかぶって学校へかよっていた。1942年（昭和17年）1月引退、4月第1号の横綱一代年寄となる。1944年（昭和19年）10月理事をやめ、近所の中島飛行機会社の青年学校の体育教官となる。1945年（昭和20年）11月廃業。麴町の菊池邸で家事見習いをしながら、華道に通っていた。

珍し物好きで自転車やダットサンに乗る

横綱は珍し物好きで、当時力士は、あまり自転車に乗って居ない時に40インチ特大の自転車ですら体も頑丈に作って貰った。場所入りも自転車で行った。「巨漢横綱男女の川、自転車で場所入り」と新聞、雑誌にも書きたてられた。

1938年（昭和13年）12月3日長男和夫君が誕生した。5歳位の和夫君を自転車の後ろに乗せていると、大木にセミがとまっているようだった。自転車はその後、盗まれたと言っていた。

三鷹コラル商店会の会員が、駅前に生まれ育ちその歴史とともに歩んで来られた先輩方から、手記の寄託を受けました。先輩方が先人から伝え聞きあるいは調べられた地元の歴史、実際に見聞された昭和中期以降の出来事などについて、次世代に伝えたいとの思いで70代・80代を過ぎてからまとめられた貴重なメモです。寄託を受けた会員を通して、本誌にてご紹介していきます。

また、友達からスクーターを借りて乗ったが当時三鷹の道路は大きな穴があいている悪路だったので穴に入るとたん、前輪と後輪がバラバラになり、スクーターの借り賃が高かったとぼやいていた。また当時マイカー族がほとんど居なかった頃、小さなダットサンの運転席を、大きな体が入れるように改造して乗っていた。この車で場所入りもしていた。あるとき車が故障したらしく、奥さんと子供を乗せたまま駅前通りを押して帰るのを見たことがある。

衆議院選挙、私立探偵、料理屋、茶舗などに挑戦

戦後の中島飛行機株式会社は、何万坪もある跡地を元社員に飛び切りの安値で分譲した。男女の川は、貯金をはたいて500坪購入した。そこを農園にするため、青年学校の生徒を三人やとい、跡地の開墾をまかせた。秋には早速、収穫があり戦後すぐの食糧難の時なので大喜びであった。私は坂田さん（本名）の希望で下宿人を世話したことがあったが、相撲時代の癖がぬけないのか、世話した友人は、人づかいが荒いと言って出ていってしまった。坂田さんは私の家によく遊びにきていた。1946年（昭和21年）4月衆議院選挙落選、1949年（昭和24年）1月衆議院選挙落選、2回の選挙費用のため、中島飛行機跡地の農園や貯金を失ったようだ。高円寺で私立探偵を行うも、大きな体と顔が知られているので目立ちすぎ、人だかりが出来て成功しなかった。ほかに料理屋、茶舗などもしてみたがみな失敗に終わる。

千代田生命保険（京橋）支社長補となるも、力士時代にひざを痛めたのが再発し保険会社を退職する。年を経て保谷市（現在の西東京市）新町の尚和園に入る。老人ホームと言うのが嫌なのか、本人は病院から来たという私の父のところへよく遊びにきた。すると私が呼び出されて、当時三鷹センター地階にあった伊勢丹食堂に連れて行って、二人前のエビフライを食べさせ、おみやげにトンカツと、たばこを持たせていたので毎月のように来ていた。最後は武蔵村山市野鳥料理専門料亭「村山砦」で法被を着て玄關番をしていたが、砦のそばにある社宅で1971年（昭和46年）1月脳溢血のため67歳で死去した。

橋本福男氏（1929年—2021年）ご寄稿

*故人の手記であり、原文を尊重していますが、漢字表記や送りかな等の修正を行っています。

三鷹コラル営業のご案内

〔営業時間〕 B1F-3F ショップ 10:00~21:00
4F グルメ処 11:00~23:30

※一部の店舗は除く

※上記は通常の営業時間です。新型コロナウイルス感染症対策のため、変更場合があります

〔定休日〕 1月1日、1月2日
4月と9月の第二木曜日

三鷹コラル公式アプリ
ご利用ください→



2023年 2月 2日 第7号
発行：三鷹コラル TEL 0422-41-0105
制作：BUN-SHIN 株式会社 文伸
TEL 0422-60-2211



本誌のご感想をぜひお寄せください！
✉ coral@bun-shin.co.jp（編集部）

三鷹コラル フロアのご案内

5F 三鷹市美術ギャラリー（太宰治展示室 三鷹の此の小さい家）

4F グルメ処〔飲食 3店舗〕

2F おしゃれ通り〔服飾・雑貨 6店舗〕

（エルフィーロ 2022年4月15日退店しました）

B1F 三鷹市場〔生鮮3品、食料品等 計7店舗〕

（カフェメゾン 2022年2月28日退店しました）

3F 本の街

1F バラエティ倶楽部〔11店舗〕

B2F 駐車場〔トラストパーク〕

駐車料金サービスのご案内

三鷹コラルでは、地下2階の駐車場や、タイムズさくら通り駐車場で、以下の駐車料金サービスを行っています。
店舗ご利用時には駐車券をご提示下さい。
三鷹コラル館内で1店舗でのお買い上げ、

2,000円以上のご利用で **30分 無料** 4,000円以上のご利用で **60分 無料**

1回のお買い上げで最大60分が限度となります / テナント間のレシートの合算は行いません / 当日分のレシートのみが対象となります / 3階の啓文堂書店・5階の三鷹市美術ギャラリーでは当サービスは行っておりません / 4階のレストラン街においては、10,000円以上のご利用で1時間30分の無料券を発行いたします / 都合により、一部情報が変わる場合がございますので、ご了承下さい。